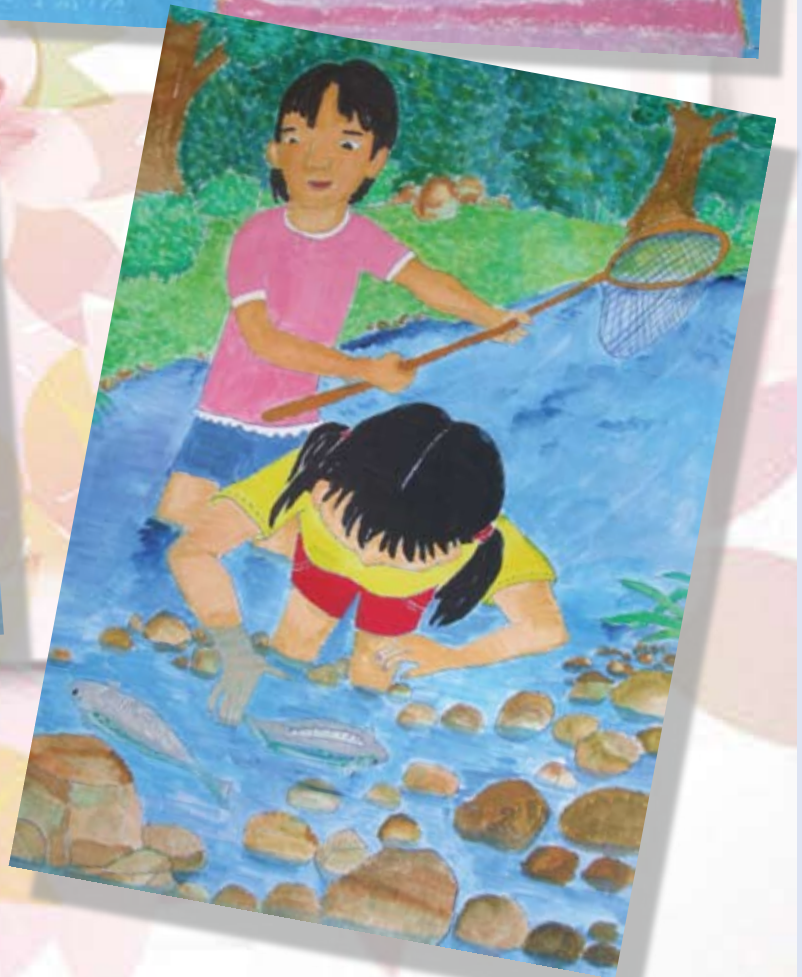


# かわ

## Contents

- わがまちのかわ ..... P1~P2
- 河川愛護絵画コンクール表彰 ..... P3~P4
- ふくおか水もり自慢 ..... P5~P6
- 災害復旧実務講習(報告) ..... P7~P8
- 福岡の身近な川とさかなを知ろう ..... P9~P10
- No30 福岡県の絶滅危惧種—汽水のハゼたち



郷土ふるさと 福岡の河川を知る

# わがまちのかわ

第25回

## 大木町 (おおきまち)



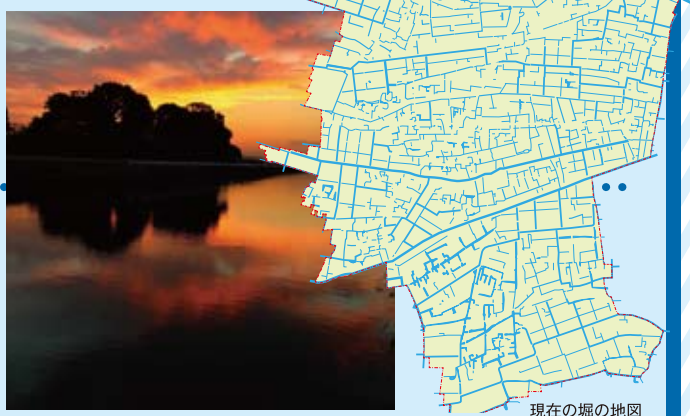
### 位置と町の概要

### すべてが人工の“川”

**大**木町は筑後平野の下流域、北に久留米市、南に柳川市、東に筑後市、西に大川市に隣接する面積18.43平方キロメートルの町で、農業を主要産業としています。米麦作をはじめとして文字通り「九州の穀倉地帯」の一翼を担っていますが、近年は、イチゴ、きのこ、アスパラガスなどの施設園芸作物で全国的にも注目されています。

わがまちの最大の特徴は、堀(クリーク)が面積の約14%を占める、全国でも有数の溝渠地帯だということでしょう。春には「川まつり」と呼ばれる水神様の祭りが集落ごとに行なわれ、その数実に50カ所ほど。人々の暮らしに「川」は欠かせません。けれども、町の人は便宜的に「川」と呼んでいますが、じつは大木町には自然の川は1本もありません。「山ノ井川」と「花宗川」の2本の「川」はありますが、これすら自然にできたものではなく、人工的に掘られた水路なのです。

筑後川と矢部川という1級河川に挟まれた平野部であるにもかかわらず、これらの河川から遠いため、常時水が不足する地帯だったのです。そのため、矢部川水系の星野川から山ノ井川に、



矢部川本流から花宗川に用水を引き入れ、昔から苦労して水を確保する必要がありました。堀は用水池としての役割を果たしています。

大木町の景観の特徴は、遠方に山を望む平野の縦横に張り巡らされた堀ということになりますが、もう一つの特徴として、鎮守の杜が点在していることです。大木町には49の行政区がありますが、この行政区のほとんどに神社があり、現在でも五穀豊穡の祈願祭や感謝祭が集落の人々の手で行なわれています。じつは、この神社そのものも堀の分岐点に置かれている場合が多く、水争いの協議をする場であったと考えられ、堀との深い関係を物語っています。

### 堀のむかしと現在

**大**木町にこのような堀が掘られたのは、奈良時代。当時「班田収授法」のもと全国中で田畑の開墾が進んだ時代でした。もともと有明海の干潟だった現在の大木町には土地がありませんでした。そこで干潟を掘り、掘り上げた土を盛り上げて耕地にしていたのです。この時陣頭指揮をとったのが国造(くにのみやつこ)として赴任した道君首名(みちのきみおびと)でしたが、実際の作業をしたのは名も無い人々です。こうしてできた堀もしばらくすると泥土がたまります。この泥土を上げるのも昔は集落総出でおこなっていました。現在のような土木機械があるわけではなく、すべて人の手でしたから大変な苦勞だったでしょう。

大木町は現在「循環の町」として注目を集め、家庭や事業所から発生したゴミを資源化しようという取組を進めています。なかでも、家庭の生ゴミを分別収集し、バイオガス化する際にできる液体肥料をまいてお米を作ったり菜の花を育てて菜種油を搾取しています。ゴミを資源として活用しているわけですが、かつて大木町では「ごみあげ」と言って堀にたまった泥土をあげて田んぼに撒き肥料にしていました。現在のようなゴミの資源化も、堀を活用しての循環の営みを続けてきたからこそ住民の協力が得られたのかもしれない。堀は大木町のライフスタイルを形づくってきたのです。



昔の堀の風情



上木佐木中のお宮  
堀にたまった雨水が蒸発して雲になり、雨となってまた堀にたまる。水のおおきな循環の中で暮らしが営まれています。

### 堀岸を散策「さるこいフェスタ」(10月)



「さるこい」は大木町の言葉で「あちこち歩きましょう」という意味です。地元の手づくり料理や産物の「お接待」を受けながら、堀岸やお宮などを一日のんびり散策する交流イベント。  
問合せ  
TEL:0944-32-1036  
(大木町役場企画課)

### 堀で一日遊ぶ「堀んびっく」(9月)



堀に浮かせたござの上を駆け抜けたり、「はんざり」と呼ばれるたらいを漕いで競う競技など、堀ならではの競技満載の大会。子どもから大人まで堀とふれ合うイベントです。  
問合せ  
TEL:0944-32-1336  
(大木町商工会)

### 道の駅おおき



大木町で栽培されたきのこやイチゴをはじめとした農産物直売所「くるるん夢市場」と地元食材にこだわった料理が味わえるレストラン「デリ&ビュッフェくるるん」、地域情報を発信するインフォメーションセンター、体験農園などで構成された「農業のまち」ならではの道の駅です。  
問合せ TEL:0944-75-2150



デリ&ビュッフェくるるん

直売所くるるん夢市場

### 天然温泉大木の湯「アクアス」



アルカリ美人湯が自慢の温泉に温水プール、健康福祉棟などを併設した町の総合健康福祉施設。2階には町の特産品をつかった料理が味わえるレストランもあり、世代や目的にあわせて利用されています。  
問合せ TEL:TEL0944-33-2002

平成26年度

# 河川愛護絵画コンクール入賞者決定!

河川愛護月間(7月1日から7月31日までの1か月間)行事として、河川愛護意識の高揚を図るため、小学校児童による河川愛護コンクールを実施しました。より多くの参加を得るため、平成26年度は応募期間を見直したところ、参加学校数が前年の26校から53校へと倍増しました。厳正な審査の結果、特選3点を始め、48点の入賞作品を決定し、平成26年12月20日(土)第11回「水もり自慢!in北九州」において表彰式を行いました。



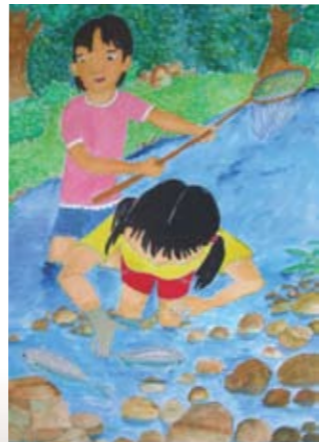
表彰式の様子



みやま市立下庄小学校4年 森美唯子さん



みやま市立下庄小学校1年 原田真瑚さん



苅田町立白川小学校6年 川上穂乃璃さん

## 特選



入賞者の皆さん

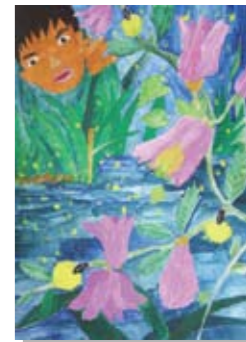
## 一等



柳川市立豊原小学校1年 高口悠さん



柳川市立柳河小学校2年 田島一慧さん



苅田町立白川小学校6年 橋本藍輝さん



苅田町立与原小学校3年 石丸きらりさん



苅田町立与原小学校4年 木下竜之介さん



苅田町立白川小学校5年 坂本雅さん

平成26年度

(敬称略)

## 河川愛護絵画コンクール入賞者

### 特選

原田真瑚	1年	みやま市立下庄小学校
森美唯子	4年	みやま市立下庄小学校
川上穂乃璃	6年	苅田町立白川小学校

### 一等

高口悠	1年	柳川市立豊原小学校
田島一慧	2年	柳川市立柳河小学校
石丸きらり	3年	苅田町立与原小学校
木下竜之介	4年	苅田町立与原小学校
坂本雅	5年	苅田町立白川小学校
橋本藍輝	6年	苅田町立白川小学校

### 二等

大坪愛実	1年	柳川市立豊原小学校
北山晴彦	1年	上毛町立南吉富小学校
木下凱翔	2年	志免町立志免西小学校
江口航央	2年	柳川市立柳河小学校
浮田夢羽	3年	苅田町立与原小学校
田中佐和	3年	みやこ町立豊津小学校
水谷天音	4年	苅田町立与原小学校
横川航大	4年	豊前市立宇島小学校
西村繪花	5年	苅田町立白川小学校
堀内慎吾	5年	苅田町立白川小学校
大塚智仁	6年	苅田町立白川小学校
木下萌奈	6年	柳川市立二ツ河小学校

### 三等

大坪 玖玲瑛	1年	柳川市立豊原小学校
沖 裕大	1年	柳川市立豊原小学校
島田 一輝	1年	みやこ町立城井小学校
宮元 将樹	2年	みやこ町立城井小学校
島添 平八郎	2年	柳川市立二ツ河小学校
松藤 颯太	2年	柳川市立柳河小学校
坂井 さくら	3年	みやこ町立豊津小学校
下野 晴翔	3年	みやこ町立豊津小学校
平野 紬	3年	みやこ町立豊津小学校
高城 利紀	4年	苅田町立与原小学校
石橋 敦瑛	4年	柳川市立二ツ河小学校
後藤 勇心	4年	苅田町立与原小学校
木村 拓海	5年	みやこ町立城井小学校
白石 歩夢	5年	みやこ町立城井小学校
後藤 慧樹	5年	みやこ町立城井小学校
島田 朱夏	6年	みやこ町立城井小学校
奥田 廉	6年	みやこ町立豊津小学校
廣瀬 茉里那	6年	みやま市立大江小学校

### 佳作

武末 美月	1年	柳川市立豊原小学校
植村 太陽	1年	みやこ町立誠郷小学校
後藤 大翔	2年	みやこ町立城井小学校
江崎 奏翔	2年	柳川市立柳河小学校
奥村 夏帆	3年	みやこ町立豊津小学校
西田 就亮	4年	苅田町立与原小学校
城戸 心	5年	みやこ町立城井小学校
乙津 ひかる	6年	福岡市立福重小学校
獅々戸 愛華	6年	苅田町立片島小学校

### ■スケジュール(予定)

実施要領決定・案内	平成27年5月頃
作成期間	案内~夏休み期間
応募締切	夏休み明け
入賞作品決定	平成27年10月頃
表彰	平成27年12月頃

## 平成27年度の河川愛護絵画コンクール

平成27年度も河川愛護コンクールを行う予定です。学校にご連絡いたしますので、奮ってご参加ください。

# ふくおか水もり自慢!

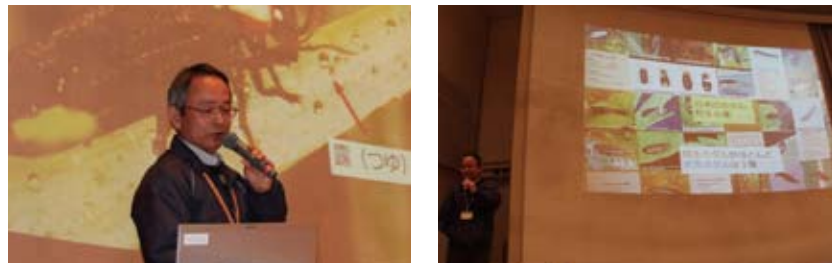
## 第11回 ふくおか水もり自慢! in 北九州

平成26年12月20日に北九州市立大学北方キャンパスにおいて、「ふくおか水もり自慢! in 北九州」が開催されました。今年で11回目を迎えた「ふくおか水もり自慢!」は、福岡県内の「水」「もり(森)」「山林、川、ため池、水田、水路、海、干潟など」に関わる活動をしている団体(学校、市民団体、NPO、国、地方自治体、企業)が一堂に会し、異分野交流や行政と市民とのパートナーシップを促進するとともに、他の団体の活動内容を学び、今後の活動の糧とするためのイベントです。今年も様々な活動をしている団体が参加し、交流を深めました。次回もたくさんの方の参加をお待ちしています!



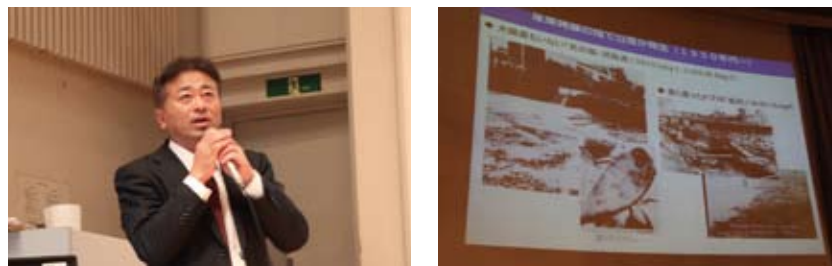
### 基調講演1

北九州市ほたる館 新海正信さんが、「北九州市とほたる」と題して紫川でのホタルの復活やその生態について講演していただきました。



### 基調講演2

北九州市上下水道局海外事業課 神野右文さんが、「北九州市の海外ビジネス展開」と題してカンボジアなどの海外への下水道技術協力について講演していただきました。



### 基調講演3

九州大学流域システム工学研究室 村川友美さんが、「地域のための自然エネルギー」と題して地域の産業としての小水力発電の活用について講演していただきました。



第11回ふくおか水もり自慢! in 北九州  
平成26年12月20日(土)



### 北九州からの特別報告1



水環境館 川原二朗さんが、「水辺の生き物講座」と題して紫川を中心とした魚類採取、野鳥観察、水質調査などを通して体験学習について報告していただきました。

### 北九州からの特別報告2



タカミヤ・マリバー環境保護財団 西森誠さんから、河川清掃活動や環境保全活動、また子ども向けの自然体験などについて報告していただきました。

### 活動報告



各団体は、ステージ上でそれぞれの活動を持ち時間3分で披露します。今回は、36団体が発表を行いました。子供たちの発表では、研究成果を大変分かりやすく説明してくれたり、皆でそろって元気に発表したりと、とても見ごたえのあるものでした。

### 【発表団体(敬称略、順不同)】

北九州インタープリテーション研究会、古賀河川図書館、すずめ教室、今川流域市町村連絡協議会、筑後川まるごと博物館運営委員会、新入村塾、遠賀川を描こう! 教室、堀川再生の会・五平太、ジオ&バイオ研究会、遠賀川生き物調査隊、九州産業大学流域クラブ、福岡工業大学社会環境学部社会環境学科森山研究室、特定非営利活動法人アサメの会、NPO法人筑後川流域連携倶楽部、福岡県土整備部河川課、福岡南小学校、赤村ほたるの会、福岡県北九州県土整備事務所、YNHC(青少年博物学会)、龍王・山・里・川の会、北九州市ほたる館、北九州市上下水道局海外事業課、九州大学流域システム工学研究室、水環境館、(公財)タカミヤ・マリバー環境保護財団、土居 自然学校、福岡県田川県土整備事務所、矢部川をつなぐ会、日本野鳥の会筑後支部、マザーツリー、株式会社リバーヴェレッジ、朝倉市に小水力発電をすすめる会、樋井川流域治水市民会議(旧NPO法人「南畑ダム貯水する会」)、久留米の自然を守る会、豊の国海幸山幸ネット、遠賀川水辺館、筑後川一竹・筏・夢プロジェクト、はかたわん海援隊、九州大学自然環境研究会、SWE E P

**お知らせ** 第12回「ふくおか水もり自慢!」を筑豊ブロックで開催予定です。詳細は決まり次第HP等でお知らせいたします。多くの方のご参加をお待ちしています。また、6月には「ふくおか水もり自慢!」運営の業務委託を公募いたしますので、HPにてご確認ください。

# 平成26年度 福岡県災害復旧実務講習会 (第2回)の報告

平成26年12月19日(金) 10:20~16:35 於:(公財)福岡県建設技術情報センター



平成26年度福岡県災害復旧実務講習会(第2回)(主催:福岡県河川協会)を開催し、県内の各市町村、県土整備事務所から約80名に御参加いただきました。

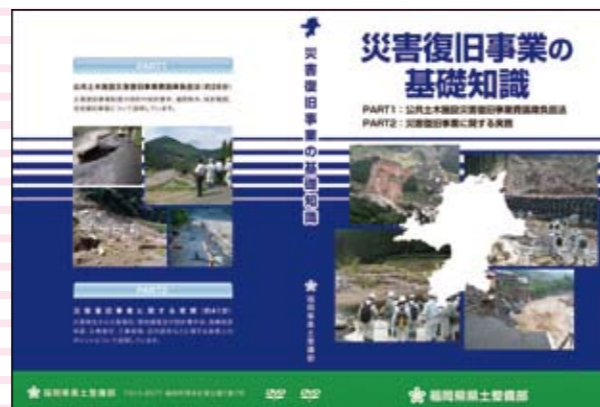
午前中は平成26年災の総括から始まり、交付申請の手続きから精算・成功認定及び繰越手続き、平成26年災害査定の結果を踏まえた申請時の留意事項について説明がありました。

昼休みの時間には、今年度福岡県県土整備部河川課において作成しましたDVD「災害復旧事業の基礎知識」を上映しました。DVDは2部構成となっており、PART1では災害復旧事業の目的や採択要件等の基礎について、PART2では実際の災害査定映像を含んだ実務上のポイントについて分かりやすく解説しております。各市町村及び県土整備事務所に配布しておりますので、職場研修等で御活用ください。

午後からは、合併施行に伴う設計変更の手続きや合冊による設計書の作成方法、12月に行われた成功認定の結果を踏まえた留意事項及び平成26年改定内容を中心とした河川災害復旧・道路災害復旧の留意事項について説明がありました。

また、災害査定の事例紹介として、飯塚県土整備事務所と嘉麻市から発表して頂きました。

飯塚県土整備事務所からは、平成26年7月の梅雨前線豪雨及び台風8号に伴う管内における施設の被害状況の説明があり、具体的な事例として、遠賀川水系一級河川鹿毛馬川で被災を受けた箇所被災状況、現地調査、復旧工法の比較検討、応急仮工事について図面と写真で分かり易く発表して頂きました。



DVD「災害復旧事業の基礎知識」



飯塚県土整備事務所 黒岩様



嘉麻市 榎田様、門谷様



九州地方整備局 田中技術検査官

嘉麻市からは、同様に平成26年7月の梅雨前線豪雨及び台風8号により被災した二級市道大力線の事例を発表して頂きました。兼用護岸の復旧であったことから、河川管理者との協議や工法検討など苦労した点について説明して頂きました。

最後に、国土交通省九州地方整備局 田中技術検査官より、災害査定における留意事項について御講義いただきました。講義の中では過去の災害査定事例を使いながら、工法検討や申請時の留意点を詳細に御講義いただき、とても有意義な講習会となりました。

今回の講習会を、発災時における応急工事等の対応や災害査定の参考に頂き、迅速かつ適切な災害復旧が行われる一助となればと考えております。また、本年度も各種講習会を予定しており、初任者の方から経験者の方まで幅広く参加できるように企画しておりますので、皆様の参加をよろしくお祈りします。



講習会テキスト

## 平成26年度福岡県 災害復旧実務講習会(第2回)プログラム

1. 開会のあいさつ
2. 平成26年災害査定の総括
3. 災害復旧事業費の国庫負担金交付申請手続きと精算・成功認定について
4. 災害復旧事業の繰越手続きについて
5. 災害査定に関する留意事項～平成26年災を踏まえた今後の留意事項～
6. 設計変更等について
7. 河川災害復旧工事における留意事項及び平成26年改定について
8. 道路災害復旧における留意事項
9. 平成26年災害査定事例(飯塚県土整備事務所、嘉麻市)
10. 災害査定における留意事項(国土交通省九州地方整備局)
11. 質疑応答
12. 閉会のあいさつ

# ふくおかの身近な川と さかなを知ろう

## No.30 福岡県の絶滅危惧種—汽水のハゼたち

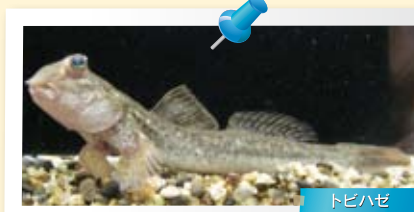
**今**日は福岡県の絶滅危惧種のうち、汽水に生息する「ハゼ類」をご紹介しますのですが、その前に「汽水」についてご説明する必要があります。皆さんが水道をひねった時に出てくる水は「淡水」、海水浴場で泳いだ時にしょっぱいと感じる水が「海水」、その両者が混じり合った水が「汽水」です。塩分計で分析すると、淡水はほぼ0%（千分率）、海水は30-34、汽水はその間の値を示します。一般に、汽水が見られる環境は川の河口域です。川からの淡水、海からの海水が、両者の接合部である河口域で混合するため汽水が形成されます。そして、潮の干満に応じて河口域の塩分は大きく変化します。

**満**潮の時には海水が遡上するため塩分が上昇し、干潮の時には潮が引くと同時に川からの水が塩水を押し流すため塩分が低下します。一日2回、潮の干満で塩分が大きく変化するため、実は河口域の環境は生物にとって過酷とされています。魚類の浸透調節機能を考えてみます。淡水魚は、体液の方が淡水よりも濃いので、水を飲まず、薄い尿を多量に、海水魚は、体液の方が海水よりも薄いので、水をたくさん飲み、濃い尿を少量します。こんな話、高校生物の授業で聞いたと思われるかもしれません。ただ、淡水と海水のそれぞれに適応する魚で浸透調節機能が正反対ですので、環境水の塩分変動を伴う河口域は普通の魚たちには棲みにくいのです。しかし、そういった棲みにくい環境にも、そこを得意とする専門家が

います。それが、「ハゼ」の仲間たちです。

**ハ**ゼ類は干潟の上を飛び回るトビハゼや河床間隙水中に生息するイドミズハゼなど、多様な環境に適応・進化した分類群で、世界に2000種以上、日本国内にも500種弱が知られています。福岡では、川と海を行き来するオオヨシノボリ、川で一生を過ごすカワヨシノボリ、海の浅場に生息するサビハゼを始めとして、様々な場所に何かしらのハゼの仲間が生息しますが、実は、大半の種は「汽水」を得意とする河口域の専門家です。ハゼ釣りのターゲットであるマハゼも、その外道のウロハゼも、汽水の魚です。

大半のハゼの仲間は、塩分変動が大きく、普通の魚にとって過酷な場所である汽水を好むため、どんな環境にでも適応できる強い環境耐性を持ち合わせているものですが、意外にもセンシティブで、絶滅危惧種がたくさん！福岡県版RDB(2014)では、クボハゼがIA類に、チクゼンハゼがIB類に、トビハゼ、タビラクチ、キセルハゼ、チワラスボ、エドハゼとイドミズハゼがII類に指定されています。クボハゼとチクゼンハゼは1960年代、博多湾流入河川の室見川河口



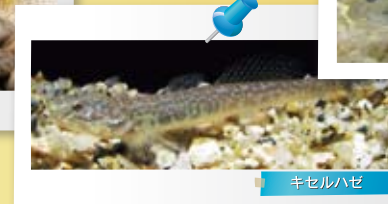
トビハゼ



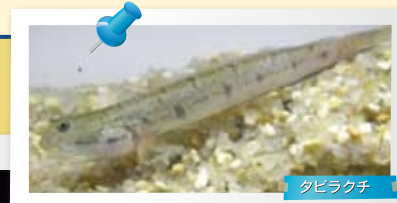
イドミズハゼ



クボハゼ



キセルハゼ



タビラクチ



チワラスボ

域に生息していたのですが、現在、その姿をこの川で見ることができません。これはほんの一例で、我々は埋め立て、干拓、河口堰建設など、河口域での著しい開発を繰り返し、そういった行為を通して、彼らの生息場に大きな人為的インパクトを与えてきました。

**講**演会などで河口域の生態系・生物多様性保全の話をする時、私は必ず「縦断方向、横断方向の環境の変化と川の個性を大切にしましょう」と述べます。縦断方向を取り上げますと、川に上流、中流、下流があるように、実は河口域にも上流、中流、下流があって、その全てがそろって健全な河口域であると言えます。普通の川の場合、河口域の最上流は極めて低い塩分で、川底は礫で構成され、博多の春を知らせるシロウオの産卵場が形成されます。そのほんの少し下流は低塩分の砂礫底で、イドミズハゼやクボハゼが生息します。河口域の中流は砂底でエドハゼ、チクゼンハゼが、さらに下流側の高い塩分の泥底にはチワラスボなどが生息します。つまり、上流から下流へと、塩分と河床材料の質が少しずつ変化することが河口域の生態系保全においてとても肝心！河口域の汽水の区間の途中に河口堰が建設されれば上流の低塩分域が失われ、そこを好むハゼたちは姿を消しますし、ダム建設などで土砂供給の量と質が変わると、河床材料が変化し、それに適応できない種が消えてしまいます。だからこそ、縦断方向での環境の多様性に十分に配慮しなければなりません。

**続**いて、横断方向。左岸の堤防から右岸の堤防まで、川を横向きに眺めたとき、地盤高が多様であることが肝心です。河口域は、潮の干満で水位が高くなったり、低くなったりしますが、ハゼの場合、潮の干満とは無関係に水中生活する種はもちろん、満潮時には水没し、干潮時

には陸域になる干潟でないといけいない種も生息しています。そして、干拓や埋め立ては陸側から行われますので、高い場所である干潟から失われていきます。その結果、干潟を好むハゼたちが危機に直面しているのです。さらに高い場所を好むカニ類とか巻貝類にまで目を向ければ、大抵の河川で河口域の高い場所が少ない現状を理解できます。横断方向での地盤高の多様性に十分に配慮すること！特に高い場所！これらは、河口域の生物多様性を考えたときとても重要なのです。

**最**後に川の個性。前回のウナギの話でも触れましたが、急勾配なまま海に流れ込む川と緩勾配で海に注ぐ川で、河口域の様相は異なります。福岡の場合、東側に急勾配河川が多く、それらの河口域には礫が多く供給されます。そして、イドミズハゼの多産地です。一方、以前紹介した多々良川河口の場合、緩勾配なので砂泥底で、エドハゼの産卵場。川ごとの個性を理解しつつ、縦断方向、横断方向に河口域を眺めること！そうすると、各々の河口域が抱えている問題点を見つけることができ、それを修正していくことで、河口域の生態系・生物多様性は大幅に良くなるものと確信しています。



チクゼンハゼ

エドハゼ

### 鬼倉 徳雄 おにくら のりお

- 九州大学大学院農学研究院・助教
- 日本水環境学会九州支部・評議委員
- 日本魚類学会自然保護委員会・希少魚類部会委員

主な著書／  
■有明海の生きものたち 干潟・河口域の生物多様性(佐藤正典編)  
■干潟の海に生きる魚たち 有明海の豊かさと危機(日本魚類学会自然保護委員会編)

# 水辺の鳥図鑑

## ダイサギ

コウノトリ目サギ科

- 撮影者:犬鳴川流域文化研究会:中村氏
- 撮影地:犬鳴川流域



最も大きな白いサギで、極端に首が長い。より深い水辺をゆっくり歩か、じっと立っていることが多い。「ゴワー」と鳴く。

様々な水辺で見られるが、九州から本州に夏鳥として飛来し繁殖するものと、冬鳥として飛来するものがある。(日本野鳥の会より)

### 協会からのお知らせ

#### ■ 平成27年度 河川愛護絵画コンクール

平成27年度も河川愛護コンクールの実施を予定しております。奮ってご参加ください。小学校へのご案内は、5月頃を予定しております。なお、詳細は、本誌の4頁に記載しております。

#### ■ 平成27年度福岡県 災害復旧実務講習会

日時:平成27年5月8日(金)  
場所:福岡県建設技術情報センター  
主催:福岡県県土整備部河川課  
福岡県河川協会

#### ■ 平成26年度河川愛護絵画コンクールの入賞者の作品を 福岡県河川協会のホームページに掲載しております。

## 表紙の説明

### 河川愛護絵画コンクールの特選作品

平成26年度河川愛護絵画コンクールの特選3名の作品です。昨年の12月20日に北九州市立大学で行われた「第11回ふくおか水もり自慢! in北九州」の中で河川愛護絵画コンクールの入賞者表彰式を行いました。



### 編集 後記

平成26年度最後の編集となりました。今回は、昨年の事業報告が多くなりました。1年間ありがとうございました。新年度からは、スタッフも変わります。皆様から楽しめる記事にしていければと思っています。よろしく願いいたします。(黒岩)

### ◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川課内)  
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7  
TEL : 092-633-2826(直通)  
FAX : 092-643-3669  
企画 セントラル印刷株式会社